

1 刈高祭を終えて

先月行われた刈高祭での3年生の活躍ぶりには目を見張るものがありました。コロナ禍に翻弄された3年間でしたが、そのうっ憤を晴らすような3年生のエネルギーやポテンシャルの高さに感動しました。切り替えの意味合いも込めた刈高祭直後の学年集会で、学年主任、進路指導主事から次のような話をしました。

少しでもお子様方のモチベーションがあがればと思います、担当者なりに今一番伝えたいことを話しました。

「刈高祭からの切り替えは必要だが、刈高祭で学んだこと（責任ある行動、計画性を持った行動、人と人の絆など）を切り離す必要はない。受験の支えにする。」

「今やっていることを大事にする。伸びるのはまだ先。ふれずに第一希望を貫いてほしい。」

「『従容自若』（3年2学期の学年目標）の精神で慌てず焦らず落ち着いて生活する。」

「受験は団体戦。先生たちも全力でサポートする。」

刈高祭後すぐに補習に真剣に取り組む姿、模試で必死に問題を解く姿に受験生としての自覚を強く感じます。業後に開放している学習室で学習する生徒も多く、さらには朝、昼休みにも学習室で学習する生徒もおり、しっかりと切り替えて目標に向かう姿に頼もしさを感じています。今後の国立大学の入試日程を載せましたので、御家庭でも話題にさせていただき、共有をしていただけたらと思います。

2 今後の入試日程について（表省略）

3 現在の大学入試環境

予備校等が主催する大学入試研究会にいくつか参加しました。そこで伝えられていた「令和4年度入試からみえたこと」、「令和5年度入試へ向けてのポイント」を右上の枠内にまとめました。

現在の保護者の方々の世代（私も同世代かと思われます）が大学入試を経験した1990年代前半が最も厳しい入試環境だったそうです。現在の大学入試環境については、最も競争が緩和された状況であると言えます。これからがお子様か弱気になる時期でもあると思います。普段から生徒と話をする機会に自信を持たせ、本校進路指導部の方針でもある「第一希望を最後まで貫かせる」ことを、お子様が現実味を持って最後まで貫けるようにサポートしていきます。

4 これからの指導について

(1) 本校の進路指導の基本方針である「第一志望を最後まで貫かせる」指導の継続

「なかなか成績が伸びなくて不安だ」という声を最近耳にしました。受験勉強を始めて成果が出るのには半年近くかかるといわれます。次から次へと模試の結果が返却されますが、結果に一喜一憂せず、冷静に自分の弱点等を確認し、復習をしてほしいと思います。発展途上にある現役生は試験当日まで、試験時間中にも成績が伸びるものです。3年生の2学期の目標である「**従容自若**」（慌てず焦らず、落ち着いて生活する）の態度で学習をしてほしいと思います。

(2) 授業をしっかりと受けさせる

刈谷高校では、普段の授業をしっかりと受けていれば十分に入試対策ができます。授業の基本は個別（2次）試験（記述問題）対策ですが、2学期後半になると大学入学共通テスト対策も行います。大学入学共通テスト後は、個別（2次）試験対策に特化した授業となります。

(3) 体調管理をしっかりとさせる

安定した学習時間を確保するためには、安定した「食事」と「睡眠」が重要です。「入試本番を健康な状態で迎える」ことが成功するために秘訣です。普段から御家庭での生活のサポートをよろしくお願います。

○令和4年度入試からみえたこと

- ・大幅難化した大学入学共通テストでは大きな差がつかず、個別試験勝負だと気づき、強気な出願が目立った。
- ・初志貫徹率（第一希望そのまま受験）が高かった。
- ・国公立大学において、5年前に比べて入学定員は変わらないのに、志願者が1割減少した。既卒生も減少して競争が緩和された。
- 令和5年度入試のポイント
- ・強い既卒生が少なく、現役生に追い風の入試。全国的に志望が控えめ。
- ・大学入学共通テストで高得点が取れた人は、二次力（記述力）があった人といえる。本物の学力を培うことが大事。
- ・「行けそうな大学」ではなく、「行きたい大学」を目指す。大学全入時代の到来。

5 受験の注意点【9月15日の行われた学年集会、生徒向け進路通信『質実剛健』でお子様には伝えてあります】

(1) 各自で受験する大学の「正しい情報」の確認

コロナ禍で行われる3回目の入試となります。今年度入試において、「コロナ後」に実施された入試変更のまま行われるのか、「コロナ前」に戻るのかは大学によって対応は違います。また、「新型コロナウイルス感染症等に罹患した受験生に対する受験機会」がどのように確保されるかを、必ず確認する必要があります。必ずお子様自身の目で確かめ、御家族で情報を共有していただければ、と思います。中途半端な情報に惑わされて、安易に志望校を下げるべきではないようにしたいです。

(2) 個別（2次・私立大学）試験の出願はすべて個人の責任で行う

大学入学共通テストは学校で一括して発送をしましたが、各大学への出願は各自で行います。また、大学入学共通テストの受験票は、各大学の個別試験や入学手続きの際に必要となりますので、大切に保管してください。

(3) 大学入学共通テストの自己採点

大学入学共通テストの結果が正式にわかるのは、入試終了後となります。そのため、大学入学共通テストでは正確に自己採点をする必要があります。自己採点が不正確では、出願に支障をきたします。

(4) 感染症対策について

大学入学共通テストに関しましては、12月中旬ごろに受験票が送付される際に同封される「受験上の注意」に感染症予防対策について掲載されます。個別（2次）試験につきましては、各大学の発表する注意事項等を参考にしてください。保護者の方とお子様と一緒に確認されるとよいかと思います。

(5) 遠方の受験について

宿泊先の確保を適宜お願いします。受験に公共交通機関を利用する場合、学割が使えます。早めに担任に申し出をさせてください。

(6) 受験合格の際

進学する大学の入学手続きが必要となります。とりわけ、私立大学の場合は国公立大学の発表前に手続きが終わることが多いので、締め切り日を確認してください。同様に、国公立大学前期試験で合格した場合も、締め切り日までに入学手続きをしないと、合格が取り消されます。

6 大学入試センターから伝えられている「大学入学共通テスト」における主な要請事項（表省略）

7 最後に

入学する意思のある大学を受験してほしいと思います。例年、国公立大学を第一希望とする生徒が不安を感じて、私立大学入試において、第一希望とは違う学部や受けられる試験すべてに出願するといったケースが見受けられます。体力や受験料も消費するので、「滑り止め」を真剣に考える前に、まずはしっかりと学習を積み重ねて第一希望の合格に少しでも近づく努力を続けるべきかと考えます。

入試全般に関しまして、お子様と向き合い、本音で話し合う機会を設けてください。進路決定においては親子のコミュニケーションは大事であると思います。学校側も面談を進め、お子様との意思の疎通を図っていきます。お子様を信じて学校側と保護者が連携して入試に臨めれば、と思います。お願いばかりで恐縮ですが、お子様の希望進路の実現をかなえましょう。

（文責 進路指導主事 岩崎 達哉）